

中学校教科書採択に向けて
市民学習会（予定）
お話：永石 幸司さん
(子どもと教科書大阪ネット21)
6月14日(日)13:30～16:00
和泉ミセ1階大集会室

泉北教育

NO.2170 2020.4.27
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

「コロナ休校」で教育課程の見直しが必要ですが 「不要不急」の内容を減らしてはダメですか

新型コロナウイルスの影響による「臨時休校」で3月・4月の授業ができませんでした。各校とも「夏休み」を短縮せざるを得ない状況ですが、本当にそれだけで足りるのでしょうか。

できます。

学校・地域で工夫しましょう

他県では「休校延長」の動きもあります。仮に5月も休校となれば、予定されている「教育課程」を大きく変更することも必要になってきます。

特に「究極の詰め込み」といわれる「新学習指導要領」が本格実施されている小学校は大変な状況です。下の図に示すように、教科書のページ数は10年前より30%増えています。「教科書の内容をすべて取り扱う」という考えを変えなければなりません。

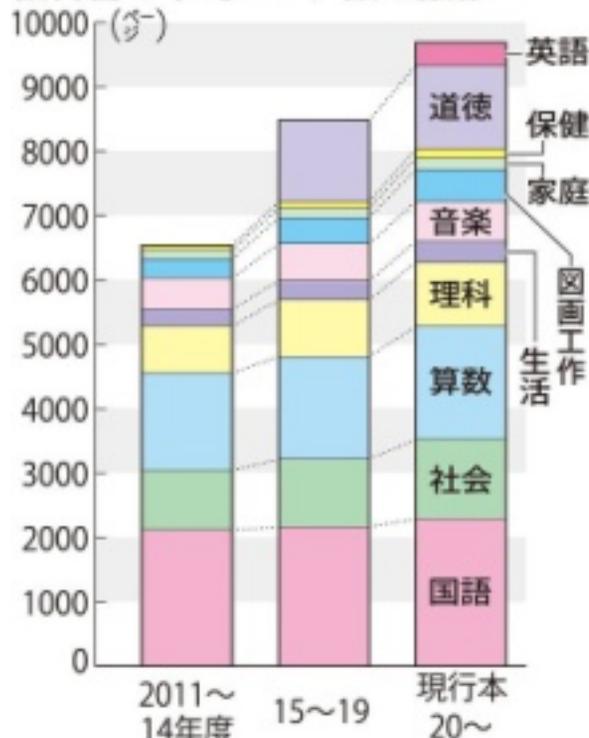
「教育課程の編成権は学校にある。」と文部科学省も教育委員会も認め、「学習指導要領」の冒頭にもずつと明記（「総則」の冒頭・左上資料参照）されてきました。ところが現実には「法的拘束力をもつ」とされる「学習指導要領」で、学校の教育内容はがんにがらめにされてきました。

しかし新指導要領には新たな項目（左上資料下線部）が新設され、「地域や子どもの実態に応じた教育課程を作らなければいけない。」と変わりました。学校・地域の実態に心じて、教育課程を変えていかなければならないのです。

昨年までの内容に戻してみませんか

臨時休校により学習する時数が減ることになる子ども

教科書の平均ページ数の推移



もたちの実態を考えれば、「不要不急」の内容を大胆に減らすことが必要です。少なくとも、今年度から新たに増えた内容については、一考が必要です。小学校英語、プログラミングなど本当に小学校で必要な内容なのか、考えるべきではないでしょうか。

「未履修」問題が発生するし、チャレンジテスト結果が高校入試の選抜に影響するからです。あらためて、全国学力調査とチャレンジテストの中止・廃止を求めます。

全国学力・学習状況調査

全国学力調査は廃止に
チャレンジテストも中止に

子どもと学校を追い詰める「新学習指導要領」は抜本の見直し。「チャレンジテスト」は廃止。